



決意新たに

株式会社 IHI
航空宇宙事業本部整備事業部
安井 義人

1. はじめに

2004年より芝浦工業大学工学部材料工学科に入学し、大学4年次から大学院修了までの3年間、私は同大学と連携大学院生制度を結んでいる独立行政法人物質・材料研究機構(NIMS: National Institute for Materials Science)のハイブリッド材料センターで研究活動を行ってきました。現在では株式会社IHIにおいてジェットエンジンの整備関連の仕事に従事しております。本稿執筆という機会を得ることができ、ここで在学中の研究生生活を振り返るとともに、入社一年目という意味での新たな決意、意気込みなどを綴りたいと思います。

私の3年間の研究テーマは、生産プロセスを考慮したPt-Ir合金コーティングの作製とその耐酸化特性の評価であり、研究開発に携わることが入学当初からの夢であったために毎日充実した生活を送ることができました。勿論、入学時から具体的な研究目標をもっていたわけではありません。しかしながら研究への憧れや好奇心だけは人一倍以上もっており、思い返せばこの研究に対する強い想いが4年後に拓かれる研究者の世界への呼び水になったのではないかと強く感じています。

NIMSを通じて、私は数々の学会発表をはじめ、企業や他大学との共同研究、外国人留学生との共同実験などといった大変貴重な体験を得ることができました。その中で最も思い出深い出来事は同センターとMOUを締結しているドイツのヘルムトシュミット大学での実験です。滞在先のハンブルクで楽しくも奮闘した2ヶ月間を過ごし、不慣れた英語を最大限に使い、自分の主張を必死に伝えている光景は今でも鮮明に脳裏に浮かびます。

2. NIMSでの研究生生活

NIMSは年齢、職種、国籍を異とする多くの人達との活発な交流ができる点において大学とは大きく環境が異なり、私が所属した研究グループにも数多くの外国人研究員が在籍していました。研究チームに加わった当初の私は、内向的な性格であることに加えて、英会話の実践経験も皆無であったことが災いし、この環境にどうしても馴染むことができ

ずにおり、またこれが原因で研究に支障をきたすこともしばしばありました。「もう投げ出して大学に戻ればどんなに楽だろう」などと弱音を吐き、鬱屈した気分がいつも私を支配していました。

そんなときに私を支えてくれたのが「どんなに辛いと思っても、楽しむことを忘れてはただ辛いだけだ。楽しめ!!」というNIMSの指導教官である村上客員教授の励ましの言葉でした。この言葉のおかげもあり、徐々にではありましたが、機構での研究生生活に慣れていき、その一年後にはたどどしい英語ながらも外国人研究員との会話を楽しむまでになりました。不思議なもので、慣れてしまうとあれほど辛く感じていた研究生生活が発見に満ち満ちた世界へと一変し、自分でも驚くほどに探究心に駆り立てられるまま、行動するようになりました。それによって専門知識を深めることだけに留まらず、他大学との学生交流や外国人研究者や留学生と接する中で生まれた異文化交流を深めることで、人としての大きな成長を遂げることができました。

3. 研究生生活を振り返って

研究生生活の幕を閉じた今となっては楽しい思い出ばかりが頭を過ぎります。しかしながら、数多くの失敗や困難に打ちひしがれ、悩みに悩んだ日々も決して少なくありませんでした。もしあの指導教官の言葉がなかったならば私はその辛さしか記憶に留めずにそれ故に大学時代の研究生生活に後悔し続けたかもしれません。

この研究活動を通じて私は「成長」というものは現時点の自らの限界を超えたときに初めてみられる現象であり、辛いと感じることは、環境が自身の成長を喚起させる信号であると考えようになりました。当然ながら限界を超えることは容易なことではありません。できないことをできるようにするには困難が伴います。しかし、費やした時間や努力を糧にしなくては成長という花が咲くことはありません。それならば辛いと思って渋々やるよりは楽しみを見出しながら続けていくほうがいいでしょう。先生の言葉にはそのような意味が込められているように私は思います。私の場合の成長は、内向的で物事に対して受動的な性格からどんな過酷な環境においても「楽しむ」ことを忘れない、そして常に向上心をもって物事に向き合う性格への転換でした。この小さな成長の延長線上に先に述べた輝かしい思い出があるのではと思います。

4. 決意新たに

入社して2ヶ月あまり経ちました。一刻も早く職場に慣れ仕事を覚えることが当面の目標ではありますが、ゆくゆくは今までとそしてこれから得られる経験とを糧として、自らを成長させ、立派なエンジニアとして世界中で活躍したい、同時に人と地球の豊かな未来へ貢献できる人間としての成長を遂げられるよう、日々の研鑽に励む次第です。

私は先に進みます。「楽しむことを忘れては辛いだけだ。楽しめ!!」とそう自分に言い聞かせて。

(2010年6月23日受理)

(連絡先: 〒135-8710 東京都江東区豊洲3-1-1)